

# 医療情報システムの強化

## まさに新病院の原動力。 最新技術を駆使した医療情報システム。

### 仮想化によるシンクライアント技術の活用

#### ●どこからでも利用可能なカルテ

院外にいなから、セキュアな環境下でカルテの参照・更新が可能です。(リモートカルテ)

#### ●書きかけでも大丈夫

記載途中での場所の変更が可能です。(ユーザーローミング)

#### ●どんな端末(登録済み)でも電子カルテを利用可能

デバイスフリーで、持ち込みPCでの業務利用が可能です。

#### ●電子カルテ端末でインターネット

診療端末でインターネットをセキュアに利用できます。

(医療情報システムとOAの相乗り)

### 各科専用電子カルテの導入

#### ●目的

「各科カルテ」＝「各科専用入力カルテ画面」を指します。  
各科、各診療グループ毎に必要な情報を明確に記載できる仕組みの構築により、

◆カルテ記載項目(入力項目・必須項目)の統一

◆カルテ記載量の向上(情報量UP)

を図り、カルテそのものの『質の向上』をめざします。

#### ●効果

##### ポイント1 質向上

カルテ記載率の向上・カルテ記載内容の質の向上

##### ポイント2 教育支援

学生教育支援・研修医のカルテ記載内容の向上

##### ポイント3 監査対応

カルテ監査対応

### 地域医療連携ネットワークシステムの導入

●施設完結型医療から地域完結型医療へのシフトが求められる中、地域の医療機関との紹介・逆紹介などの連携強化は必須のものとなっています。

●地域医療連携ネットワークシステムの導入により、各医療

機関が個別に保持する診療情報、検査結果、医用画像、レポート情報などの患者情報を共有。データセンターを中継し、ネットワーク経由で、各連携医療機関が確認でき、一貫した質の高い医療サービスが提供できます。

#### ■地域医療連携ネットワークシステム

